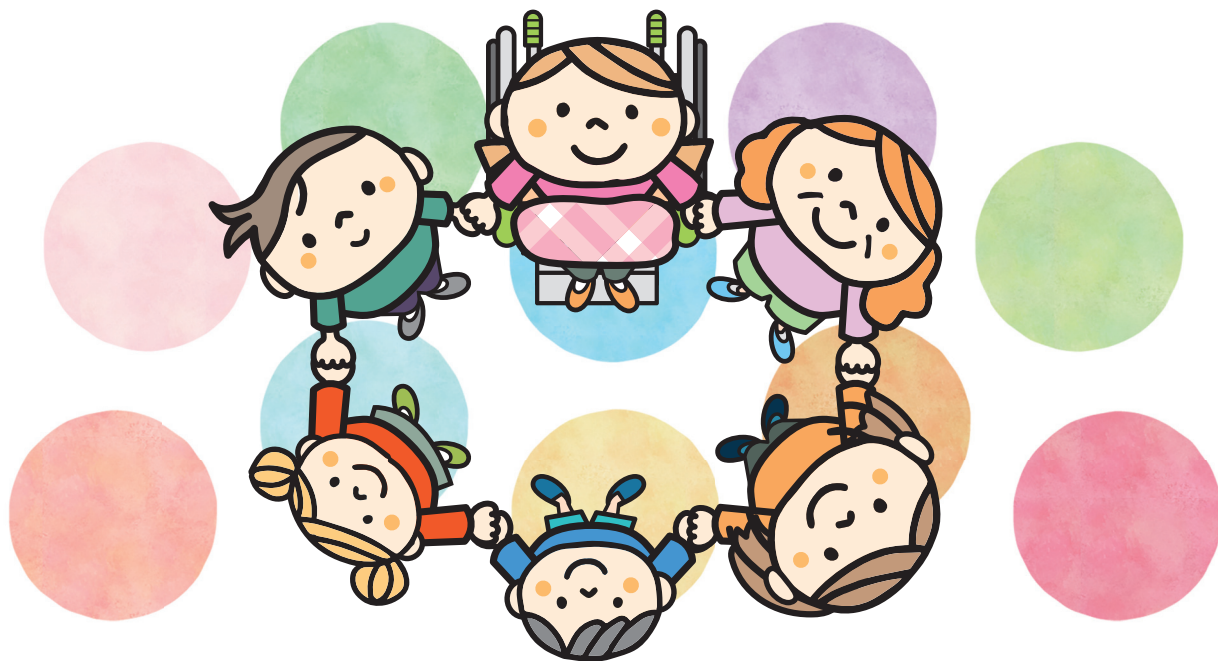


3 しょう障がいをこえて



1 障がいのある人への思いやり

みんな同じ仲間

わたしたちのまちには、子どもやおと
こうれいしゃ
なや高齢者、男の人や女の人などいろい
ろな人々が暮らしています。

しかし、わたしたちのだれもが、心身
ともにすこやかに生まれ、育っていくわ
けではありません。中には、目や耳、手
や足などに障がいのある人もいます。

障がいは、生まれる前や生まれてから
の病気やけが、あるいは交通事故などい
ろいろな原因げんいんによって起きます。

●障がいのある人の数

(令和7年4月1日現在)

目 障がいのある人	1,137人
耳や口 障がいのある人	1,892人
手や足 障がいのある人	10,874人
心臓やじん臓など に障がいのある人	6,241人
知的障がい のある人	5,115人
精神障がい のある人	6,619人

(大分市福祉事務所障害福祉課調べ)

また、原因が全く分からない場合もあります。

障がいのある人もない人も、みんな同じ仲間として、おたがいに支え合っ
て暮らしていくことが大切です。

お母さんの願い



わたしは、自閉症傾向のある子どもの母親です。親としてのわたしの願いは、子どもに友だちができることです。そして、社会に出てからも、人とかかわり合いながら過ごしていけるようになることです。

「自閉症」は、今でも原因や治療法が見つかっていない生まれつきの脳の障がいだといわれています。でも、心はみんなと同じようにうれしかったり、悲しかったりします。その気持ちをうまく話せないのが、みんなに伝わりにくいのです。そのため誤解されることがあり、それがきっかけでいじめにあっ

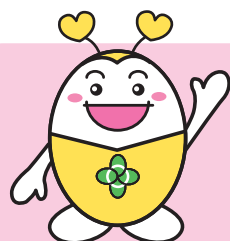
てしまうこともあります。

みんなとちがうところは、その子の個性だと思ってほしいのです。けれども、その個性は、自分勝手に見えたり、知らないうちに相手を傷つけてしまったりすることも少なくありません。

いっしょに何かをするときには、その仕方を簡単なわかりやすい言葉で教えてください。たとえば、「今は、すわりましょう。」「今から手を洗いましょう。」など、今は何をしないといけないかをはっきり教えてあげてください。また、「そうじのときは、長い時計の針が6から10になる間に、中央線の所から窓の所まで全部ふいてね。」など、目で見てすぐにわかる方法はとても効果があります。

みんなと少しちがうけれど、つきあい方さえわかればすぐに友だちになれるのです。個性が強いだけで、みんなと同じなのです。

どうか「自閉症」も個性だと思ってつきあってみてください。

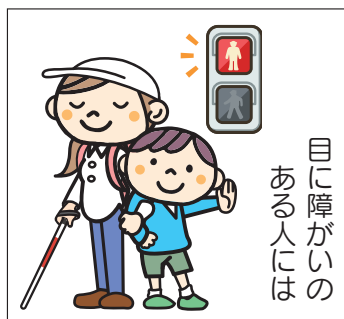
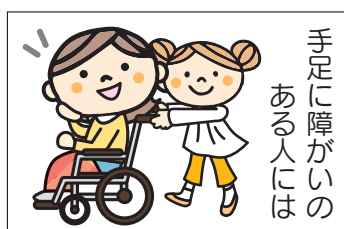


障がいのある人とお友だちになるためには、わたしたちはどんな接し方をすればいいと思いますか。考えを書きましょう。

思いやりの心

障がいのある人も、一人ひとりが頑張って生活しています。でも、みんなと同じようにはできないこともあります。学校やまちで困っている人を見かけたら進んで手助けをしましょう。

●体に障がいのある人への手助け



何かお手伝い
しましょうか。

※まず、声を
かけましょう。



●ヘルプマークを知っていますか

義足の方など、外見からは分からなくても手助けや気遣いを必要としている人が、周囲の人に気遣いを必要としていることを知らせることで、手助けを得やすくなるように作成されたマークです。



●もうどうけん 盲導犬 (目に障がいのある人の目となってゆうどうしてくれる犬)

人にほえたり、かみついたりしないように、^{きび}厳しい訓練を受けています。かわいくても、声をかけたり、手を出したり、食べ物をやったりしてはいけません。ハーネス (人と盲導犬をつなぐ器具) をつけているときは仕事中なのです。



●盲導犬とのふれあい学習

● 盲導犬のほかに ^{ちょうどうけん} 聴導犬 (耳に障がいのある人に音を知らせる犬)、^{かいじょけん} 介助犬 (手や足など体に障がいのある人の生活の手助けをする犬) があります。これらを合わせて、^{ほじょけん} 補助犬といいます。

2 障がいを乗り越えて

わかりあう心

体に障がいのある子どもや体の弱い子ども、知的障がいなどのある子どもたちのための学校や学級があります。将来、自分の力で生活できるように、障がいの状態に応じて訓練や勉強にはげんでいます。

くじけない妹

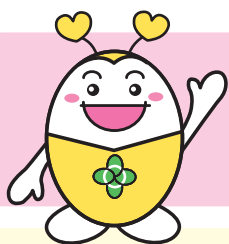
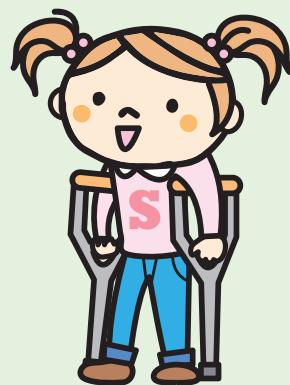
児童作文

ぼくの妹は、生まれてすぐせきずいしゅじゅつの手術をしました。そのため、足にマヒがあり装具をつけて生活をしています。装具をつけると、ひざを曲げて歩けないため、1年生のころは他のクラスの子や上級生に「ロボット。ロボット。」と、よくからかわれていました。妹は、家でよくくやしがっていましたが、泣くことはありませんでした。ぼくは、妹はすごいなと思いました。

また、去年のマラソン大会では、「ビリでもいい。走りたい。」と、言い出したのです。妹には、ぼくにはない強い精神力せいしんりよくがあるんだなと感じました。障がいがあるからできないとあきらめるのではなく、自分にできることを精いっぱいやろうという強さや勇気を、妹から教えてもらったと思います。

妹は去年、今年と手術をしたので、この2年間ぼくの家族はどこへも行けませんでしたが、手術の後で遠くまで歩くことができない妹のことを考えると、ぼくもがまんしなくちゃと思います。だれより、夏休みに外へ出られないでくやしがっているのは妹のはずです。

2学期が始まると妹は、松葉づえと車いすの生活です。母は「ろうかは車いすいどうで移動したほうがいいよ。」というのですが、妹は「松葉づえで歩けるように練習するからだいじょうぶ。」とがんばっています。これからも、ぼくは、妹の足が一日でも早く治るよう応援したいと思うし、妹のようにくじけない強い心でがんばります。



障がいのあるお友だちの学習や訓練の様子からどんなことを学びましたか。感想を書きましょう。

自立をめざして

障がいのある人たちが、将来、社会に出て、自立していけるように、仕事に必要な技術を学んだり、社会生活の仕方の訓練にはげんでいます。

障がいのある人たちを支援している人のお話

しんけんに取り組める仕事があり、働いて得たお金で生活を楽しめるといことが幸せの基本です。障がいのある人にとってもそのことは変わりません。

大分市にはたくさんの福祉施設があります。そこでは、自立に向けて仕事の仕方を学んだり、社会生活をするために必要な訓練を受けたりしている障がい者がたくさんいます。しかし、自立して生活していくことは決してたやすいことではありません。本人の努力とともに、周りの人たちの温かい理解と適切な支援が大切です。

(大分市手をつなぐ育成会会長)

元気に働く人々

障がいを乗り越えて、明るく力強く生活している人がたくさんいます。



●障がいを乗り越えて、おいしいパンを作っています。
(障害福祉サービス事業所「ペパーミント」のみなさん)



●左腕だけでも毎日仕事にがんばっています。

3 共に歩む

障害者週間

12月3日から12月9日までの1週間を「障害者週間」と定めています。わたしたち一人ひとりが障がいのある人に対する理解をさらに深めるとともに、障がいのある人が社会生活に積極的に参加する気持ちを高めることを目的としています。



●輪い笑いフェスタ！大分市福祉のつどい

障害者差別解消法の施行

障がいのある人もない人も分け隔てなく、お互いに人格と個性を尊重し合いながら共生できる社会をつくることを目的として、2016年に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（通称：障害者差別解消法）が制定されました。この法律では、国や県・市町村などの行政機関や民間事業者が、障がいを理由とした差別をなくすための措置を定め、それを実施することが規定されています。

全国障害者スポーツ大会



●障がいを乗り越え激しいスポーツに挑戦する車いすバスケットボールの選手たち

「全国障害者スポーツ大会」は、障がいのある選手が競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験し、多くの人々が障がいのある人に対する理解を深めることによって障がいがある人の社会参加が促進されることを目的とする障がい者スポーツの祭典です。

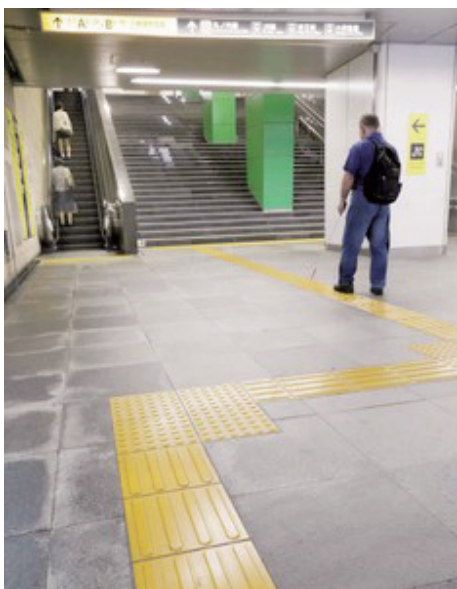
平成13年から国民体育大会（国民スポーツ大会）の開催が都道府県で行われています。平成20年は大分県で開催されました。令和8年度の大会は、青森県で開催されます。

まちのなかにやさしさが

わたしたちが住んでいる大分市では、障しょうがいのある人たちが生活しやすいようにいろいろなくふうがされています。

この工夫はバリアフリー（障しょうがいのある人が使いやすいようにさまたげとなるものを取り除のぞこうとする考え方）やユニバーサルデザイン（障しょうがいのある人をはじめとして、だれにでも使いやすいように物や建物を作ろうとする考え方）によって行われています。

●点字ブロック



点字ブロックは、2種類あるよ。細長いのは、進む方向を示しているんだよ。



丸いブロックは注意や警告けいこくを示しているのよ、ここで一度止まって次の行動に移るんだよ。



●点字案内表示



●エレベーターの行き先を点字で表示しています。

●音きょう式信号機

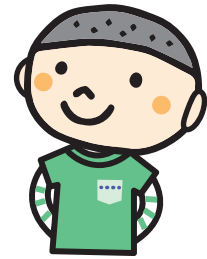


●曲や音で進む方向や信号の変わったことを知らせます。

●多目的トイレ（バリアフリートイレ）



車いすが自由に動かせるように広くしているね。手すりも付いていて使いやすくしているよ。入口のドアがスライド式になっているよ。



●障がい者や赤ちゃんといっしょの人などが使うのに便利です。

●エレベーター



エレベーターの中の鏡は、車いす^おで後ろ向きに降りても危なくないように付いているんだよ。



●車いす用スロープ



●低いカウンター（市役所）



●車イスのまま書類を書くことができます。

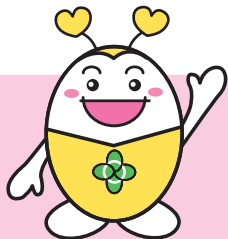
次のようなシンボルマークを見かけたことはありませんか。



障がいのある人が利用しやすい建物や施設を示すマークです。



目に障がいのある人が利用しやすくするために、注意をうながすマークです。



あなたの校区には、障がいのある人たちが生活しやすいようにくふうされたものがあるでしょうか。見つけたものを書きましょう。

見つけたもの	見つけた場所	生活をしやすい工夫